

1 反義語とは

「大きい／小さい」「上／下」「開ける／閉める」のような語を反義語（反対語）と呼ぶ。反義語は、意味が逆のことばであるが、語のもつ意味特徴のすべてにおいて逆なのではなく、そのうちの一つが逆であると考えられる。

たとえば「父」は<男性><一世代上><直系>という意味特徴の束であると考え、その逆は<女性><一世代下><傍系>という意味特徴の束となり、それは「姪」を指すことになってしまう。だが「父」と「姪」が反

対語であるというのは、おそらく日本語の直感に反するだろう。「父」の反義語は、「男性」を逆にした場合の「母」か、「一世代上」を逆にした「息子」が一般的である。

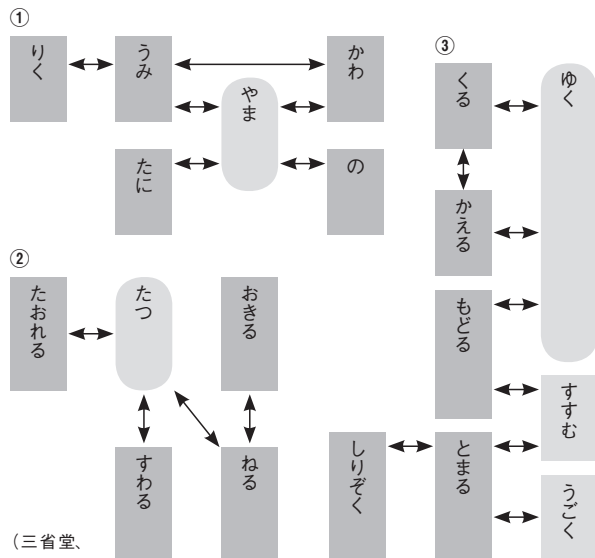
2 反義語と対照語

反義語は基本的に二語の関係であるが、対照語は三語以上の関係であり、名詞に多い（図4-16,4-17）。

たとえば方位を表す「東・西・南・北」、季節を表す「春・夏・秋・冬」、曜日を表す「月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日・日曜日」、

図4-16 反義語・対照語 (1)

語と語間の意味の対立は安定したものではなく、観点によって、さまざまな対立が生じてくることも少なくない。①は「やま」を中心につぎつぎに浮かび上がってくる語彙の結びつきの様子を示したものであり、②は「たつ」を中心に展開される反義語の結びつきを示したものである。さらに、③の「ゆく」をめぐる反義語の結びつきのように、複雑なものもある。



【出典】 松村明編『大辞林 第三版』（三省堂、2006）をもとに作成

感情を表す「喜・怒・哀・楽」などには、対照語の関係がある。

3 形容詞の反義語

形容詞には反義語をもつものが多い。ある基準について、その程度が逆になることを表すペアがあり、両極にある語の間には無限の中間段階が連続的に存在する。

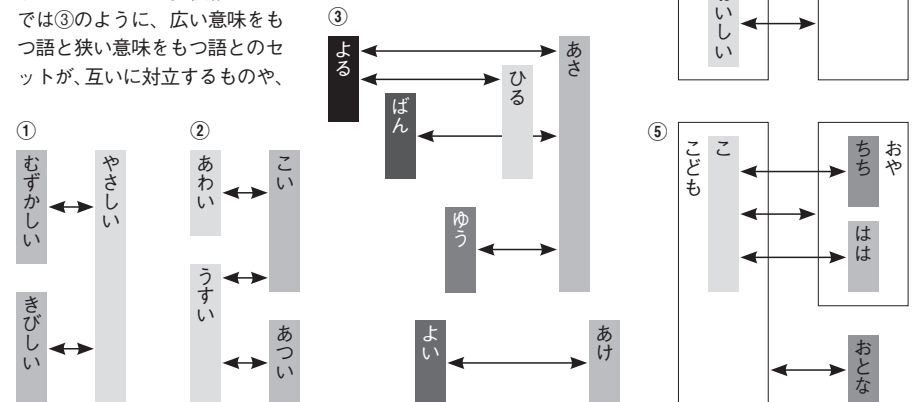
- ・ 高い／安い (値段)
- ・ 高い／低い (高度)
- ・ 暑い／寒い (気温)
- ・ 熱い／冷たい (物質)
- ・ 重い／軽い (重量)
- ・ 遠い／近い (距離)
- ・ 多い／少ない (数量)
- ・ 広い／狭い (面積)

「あつい／さむい」は気温の高低の程度が甚だしく不快であることを表すのに対し、「あたたかい／すずしい」はその程度が穏やかで快適であることを示す。「熱い／冷たい」にも「温かい／ぬるい」という、程度がそれほど甚だしくない段階がある。「あつい」には「暑い・熱い」のほかに「厚い」があり、その反義語は「薄い」である。このように「あつい」は多義語であり、表記において異なる漢字が使われ、反義語もそれぞれ異なる。一方で「早い／遅い（時間）」と「速い／遅い（スピード）」のように、片方の表記のみが異なる場合もある。また「忙しい／暇だ」「きれいだ／きたない」のように、形容詞と形容動詞のペアもある。

図4-17 反義語・対照語 (2)

①のように一对多の対立によるもの、あるいは②のように複数の語のセット同士が対立しあうものなどもある。複雑なものでは③のように、広い意味をもつ語と狭い意味をもつ語とのセットが、互いに対立するものや、

④⑤のように、大きな対立の中に、小さな対立を含むものなどもある。



【出典】 松村明編『大辞林 第三版』（三省堂、2006）をもとに作成